

# 活動レポート

日本技術士会北海道本部

## 青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会 幹事 神尾 宏子

青年技術士交流委員会 テクニカルツアー Kitara をもっと楽しもう♪

### 「Kitara 設計者 木下孝氏講演会・見学会」

#### 1. はじめに

青年技術士交流委員会では、「技術士の資質向上」を目的として、テクニカルツアーの企画・運営を行っています。本稿では、2022年10月に開催したテクニカルツアーについてご報告いたします。

今回のテクニカルツアーでは、札幌コンサートホール Kitara (以下、Kitara) を設計した木下孝氏を講師に迎え、Kitara 誕生秘話や素晴らしい音響の仕組みについて講演頂いた後、見学会を実施しました。

#### 2. Kitara について

Kitara は、交通アクセスの良い立地および水と緑に恵まれた中島公園内にあり、年間を通じて多くの人々の憩いの場となっています。また、木のぬくもりに包まれたホールの素晴らしい響き、洗練された意匠は、国内外の一流アーティストや音楽愛好家等、多くの人々に愛され続け、今年7月で開館25周年を迎えました(写真-1)。



写真-1 Kitara 大ホール

#### 3. 開催概要

○日時 2022年10月20日(木)

見学会 13:30 ~ 16:00

懇親会 16:00 ~ 18:00

※後日興味がある人は演奏会に足を運び音楽鑑賞。見学会で学んだ内容を体験する。

○講師 Kitara 設計者 木下孝氏

○司会 高橋 歩夢幹事：(株)ドーコン

○参加者 11名

#### 4. 木下孝氏講演会

講演会では、木下さんが Kitara を設計する際に大切にされたコンセプト(①大正時代の札幌市古地図に載っている街区を構成する2つのグリッドに沿って Kitara を配置、②大・小ホールは中庭を介して分離した配置とし、音響的处理に適した空間構成を作り出すこと、③ゆとりあるアーティストエントランス)等、設計者の視点ならではの解説を頂きました(写真-2)。



写真-2 講演会の様子

## 5. Kitara 見学会

Kitara 見学会では、木下さんの案内で大ホール、パイプオルガン、楽屋、小ホール、楽器搬入口の他、普段は立入禁止の大ホール天井裏や地下の防音壁等、約 20 箇所を見学しました。

参加者は、木下さんのユーモアを交えた解説に熱心に耳を傾けていました。

特に、大ホールの音響設計を行った当時の、1/100 模型を用いたシミュレーション結果と実際に建設されたホールの試奏結果がピッタリと一致した話題については、参加者から大きな反響がありました。

大ホールの天井は、空調の音が外部に漏れないよう、遮音効果のある厚手のコンクリート製天井板が用いられています。天井板は、空調メンテナンスのし易さを考慮し、人が乗れるように設計されています(写真-4)。

大ホール 1 階座席の真下は、壁面に厚手のグラスウール吸音材を施した防音壁が設けられています。吸音効果を上げるために曲がり角が施工され、外部から伝わる音を吸収・遮音しています(写真-5)。

因みに、豊平川花火大会がある日は、花火の音を遮音しきれないため、公演を実施しないようにしているそうです。



写真-3 見学会の様子



写真-4 大ホール天井裏



写真-5 大ホール地下防音壁

## 6. 館の利用者・未来への配慮

Kitara では、音響への技術的配慮の他、Kitara に係わる方々が施設を快適に使用できるよう、随所に細やかな配慮がなされていました。

大ホールの各階には、観客がブロック・座席間を移動しやすいように通路が設けられています。

2 階ブロック後列には、小さな車輪が付いている座席があり、車椅子を利用する方のために座席をスムーズに搬出し、空間が設けられるように配慮されています(写真-6)。



写真-6 座席下の車輪

アーティストエントランスから楽屋に繋がる通路は、中庭が見えるように設計され、演奏を控えたアーティスト達の心を和ませています。

また、100 年後も Kitara が存続する事や今後の再生可能エネルギー使用を視野に入れた施設設計など、未来への配慮も見られました。

## 7. 質疑応答

見学会終了後の質疑応答では、『大ホールの座席区分と音響の関係』や『大ホールの温度・湿度管理について』等の質問が挙げられ、木下さんと参加者の間で白熱したやり取りが行われました。

## 8. テクニカルツアーを終えて

今回のテクニカルツアーでは、Kitara の素晴らしい音響が設計者木下さんを始め、国内外多くの方々が持つ技術の粋を集めて実現されたことを知りました。また、Kitara を使用する方々へ向けた木下さんの暖かい心遣いを感じることができました。

参加者は、テクニカルツアーを通じて、楽しみながら、より深く Kitara について知れたと思います。

最後に、Kitara 見学会講師を快諾、素晴らしい解説をして頂いた木下さんに心より御礼申し上げます。